

(法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」)

2025 年(令和 7 年)度の事業報告書

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人ゆう

1 事業の成果

・2013 年 12 月から「就労継続支援 B 型事業所」へ移行し、12 年 4 か月経過しました。
・「就労継続支援 B 型事業所作業所ゆう」は、4 月には 9 名でスタートし、4 月 21 日に新規利用者 1 名が増え 10 名の利用になった。それぞれが相談支援専門員と「サービス等利用計画」をたて、作業所内でも「個別支援計画」をたて、それに沿った支援をしていきました。

・作業内容としては、「自然食品と手づくり品の店ゆう」の日々の業務として、商品の値付け・棚並べ・販売をしました。店として、お客様に気持ちよくご来店いただけるよう掃除や花植えをしたり、賞味期限チェックなども毎日地道にやっていました。

・外での販売も公的施設や障がい者施設など月に 3～5 件(不定期含む)あり、食品や手づくり品をまとめて、車で販売先まで出かけて販売しました。5 月にはアンサンプル OITA で出店販売をし、たくさんのお客様に来ていただき、手づくり品が売れました。

・また、手づくり品製作では、主にアート布巾や刺し子布巾を縫ったり、ゆうのマスコットの福朗さんの小物や、ブローチ類などの手づくり品製作をしています。他にも、いろいろな手づくり品の開発をしながら過ごしています。

・カタログでの販売もしています。委託販売もしています。診療所と高齢者施設にそれぞれのニーズにあった商品(自然食品のお菓子)を委託しています。

・はっぴースタディでは、絵画鑑賞や映画鑑賞などの日々の充実を図るための活動もしました。また、利用者の誕生日にはゆうのお菓子でお祝いをする誕生日会も開催。

はっぴースタディとは、計画するところから参加して、場所や準備物について調べたり、考えたり、しおりや報告書をつくったりと訓練的な要素をもつものとしての名称です。

・日中一時支援「アフターゆう」は、利用者 1 名で、旅行のガイド雑誌を見たり、職員との談話を楽しんだりして過ごしました。

これらの日々の支援を充実させるために、スタッフミーティングでの内部研修や、以下の研修会に参加して知識を増やし、スキルをあげるよう努力しています。習得した知識をスタッフミーティング等で伝達講習をしました。「令和 7 年度大分県障がい者虐待防止・権利擁護研修」「九州自然食品協同組合・合同支部会研修会」「徳田弁護士講演会」「優生保護法裁判を支援する大分の会シンポジウム」などです。

・2022 年度に「感染症発生時対策委員会」、「虐待防止委員会」、「身体拘束の適正化対策委員会」、2024 年度に「自然災害発生時対策委員会」、2025 年度に「事故発生防止委員会」を発足し、委員会の開催や、研修も「感染症対策研修」「障がい者虐待防止・権利擁護研修」「身体拘束などの適正化対策研修」等実施した。また、感染症と自然災害と両方とも業務継続計画の研修も実施した。机上での研修で、どのように事業を継続していけるか話し合った。

・通信発行と随時、ブログ「ゆうのわいわいドタバタ日記」で広報活動もしました。インスタグラムの開設もしました。通信は2025年度も発行頻度が低かったため、4ヶ月に1度程度の発行が出来るよう頑張りたいです。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数
(1) 障害者総合支援法に基づく、障害のある人たちの居場所作りや社会参加をするための福祉サービス事業	・就労継続支援 B型事業 ・日中一時支援事業	(A)2025年4月1日～ 2026年3月31日 (B)ゆう (C)20名 (A)2025年4月1日～ 2026年3月31日 (B)ゆう (C)1名	(D)大分市内の利用者 (E)10名 (D)大分市内の利用者 (E)1名
(2) 地域社会との交流事業	・作業所ゆうにおける「自然食品と手づくり品の店ゆう」運営	(A)2025年4月1日～ 2026年3月31日 (B)ゆう (C)5名	(D)一般のお客様 (E)のべ1000人

法人名：特定非営利活動法人 ゆう

活動計算書

2025年4月1日より2026年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額		合 計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	21,000		
応援会員受取会費	13,000	34,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	80,000	80,000	
3. 事業収益			
受託事業収益	20,025,104		
自主事業収益	7,765,319		
事業収益計		27,790,423	
4. その他収益			
その他収益計		0	
経常収益計			27,904,423
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
職員給料	8,699,431		
非常勤職員給料	3,070,719		
工賃	1,449,384		
法定福利費	1,150,844		
福利厚生費	935,542		
人件費計	15,305,920		
(2)その他経費			
仕入・材料	5,746,631		
租税公課	3,200		
地代家賃	2,013,350		
賃借料	46,200		
旅費交通費	355,878		
通信運搬費	144,185		
消耗品費	230,711		
備品費	148,933		
広告宣伝費	15,241		
研究研修費	7,680		
訓練指導費	87,032		
教養娯楽費	33,097		
会議費	1,868		
諸会費	35,800		
水道光熱費	375,045		
車両費	97,210		
保険料	121,220		
諸謝金	74,000		
交際費	51,384		
業務委託費	211,350		
減価償却費	762,624		
雑費	457,043		
雑損	1		
その他経費計	11,019,683		
事業費計		26,325,603	
2. 管理費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
その他経費計	0		
管理費計		0	
経常費用計			26,325,603
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産			7,474,852
当期正味財産増減額			1,578,820
次期繰越正味財産額			9,053,672

法人名：特定非営利活動法人 ゆう

貸借対照表

2026年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	7,576,087		
普通預金	0		
定期積金	550,000		
流動資産合計		8,126,087	
2 固定資産			
構築物	181,500		
設備	31,147		
什器備品	966,381		
車両	3,411,287		
出資金	30,000		
敷金	172,000		
固定資産合計		4,792,315	
資産合計			12,918,402
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	3,864,730		
流動負債合計		3,864,730	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			3,864,730
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		7,474,852	
当期正味財産増減額		1,578,820	
正味財産合計			9,053,672
負債および正味財産合計			12,918,402

法人名：特定非営利活動法人 ゆう

財 産 目 録

2026年3月31日現在

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	7,576,087		
定期積金(信金)	550,000		
流動資産合計		8,126,087	
2 固定資産			
看板	181,500		
洋式トイレ	31,147		
コピー機	1		
パソコン	1		
ラジエントヒーター	1		
冷凍冷蔵ショーケース	323,125		
レジスター	1		
エアコン	643,252		
ホンダステップワゴン	3,411,287		
出資金	30,000		
敷金	172,000		
固定資産合計		4,792,315	
資産合計			12,918,402
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	3,864,730		
流動負債合計		3,864,730	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			3,864,730
正味財産			9,053,672